

卷末資料

資料.1 ワークショップで使用する資料の解説

ここではマイ・タイムラインワークショップで資料の各ページについて解説していきます。資料は【STEP1】～【STEP3】の3部構成となっています。

なお、ワークショップの内容や時間、参加人数などにより使用する資料のボリュームも変わってくるため、ここで紹介する資料は必ずしもすべて用意する必要はありません。必要に応じて取捨選択してみてください。時間配分についても、住民の理解度に合わせて調整していくと良いでしょう。

各ページのねらいについて解説

各ページの説明にかける時間配分の目安
(ワークショップを2時間と想定した場合のおおよその時間配分です)

表紙

◆このページのねらい

説明時間の目安：〇〇分

◆ポイント

藤枝市青島第7地区
マイ・タイムラインワークショップ

水害リスクを知ろう!!

【第1回】 令和元年9月29日(日)
【第2回】 令和元年11月2日(土)

◆説明する際のシナリオの例

説明する際のシナリオを取りまとめてあります。読み原稿を作る際の参考に使ってください。

各ページの作成のポイントや、説明時の要点を紹介しています。

◆ このページのねらい

- ・ まずはマイ・タイムラインワークショップの流れを確認してもらいましょう。

説明時間の目安：1分

目次

【STEP1 自分たちの住んでいる地区の洪水リスクを知る】

- はじめに..... ●
- 1. 地区の特性..... ●
- 2. 過去の洪水から学ぶ..... ●
- 3. 地形の特徴から学ぶ..... ●
- 4. 最近の雨の降り方と傾向..... ●
- 5. 「想定最大規模の雨」で川が氾濫したら..... ●
- マイ・タイムライン作成のためのチェックシート..... ●

【STEP2 洪水時に得られる情報を知る、タイムラインの考え方を知る】

- 6. 洪水時に得られる情報と読み解き方..... ●
- 7. タイムラインの考え方..... ●
- 8. 洪水時の自らの行動を想定..... ●

【STEP3 マイ・タイムラインの作成】

- 『マイ・タイムライン』をつくってみよう!! ●

◆ ポイント

- ・ マイ・タイムラインワークショップは、3つのSTEPで進めていきます。
- ・ 段階を追って防災知識を身につけられるような構成としています。

◆ 説明する際のシナリオの例

- ・ まず【STEP1】でお住まいの地区の水害リスクを学んでいきます。そして【STEP2】で洪水の際に得ることのできる情報やタイムラインの考え方についてお伝えします。
- ・ 【STEP3】では、実際に皆様にマイ・タイムラインを作成していただきます。

◆ このページのねらい

- ・ ご自身が過去に経験した洪水を思い出してもらいましょう。

説明時間の目安：3分

STEP 1

✓ はじめに

👉 過去に経験した洪水とその時のあなたの行動を振り返っておきましょう。

- ①過去に洪水を経験したことがありますか？
- 経験したことがある。記載例) ・昭和△△年 台風○○号
・ _____ 年 _____ 年 _____
- 経験したことがない。
- ②過去に経験した洪水で、あなたは避難したことがありますか？
- 避難した
 避難しようとしたが、できなかった
 避難しなかった (避難しなかった理由： _____)
- ③避難した方にお聞きます。どこに避難しましたか？
- ④避難場所へ到着したのはいつ頃ですか？該当するものに○をつけてみましょう。また、家から避難場所までどのくらいの時間がかかりました？
- 朝・昼・夜・夜中 かった時間 _____ 分
- ⑤避難の準備を開始してから家を出るまでどのくらいの時間がかかりましたか？
- _____ 時間 _____ 分
- ⑥避難のきっかけは？
- ⑦避難に関して、過去の洪水を経験して覚えておきたいこと、学んだことや工夫したことがあれば、メモしておきましょう。

◆ ポイント

- ・ 記載していただく情報は、ワークショップ実施前のいわば初期値です。
- ・ ワークショップによって水害に対する意識の変化が確認できます。

◆ 説明する際のシナリオの例

- ・ 皆さんが過去に経験された洪水について振り返ってみましょう。①から⑦までのご記入をお願いします。
- ・ 複数の洪水を経験された方は、最近の洪水を思い出して書いてみましょう。
- ・ 時間を書く欄がありますが、正確に覚えていない方はだいたいで結構ですので、書いてみましょう。

◆このページのねらい

- ・ご自身の地区の特性について知ってもらい、「自助」と「共助」につなげましょう。

説明時間の目安：2分

STEP 1

1. 地区の特性

■ 人口・高齢者の割合

📍 藤枝市全域では

| | |
|---------------------|-----------|
| 藤枝市全域の世帯数 | 59,480 世帯 |
| 藤枝市全域の人口 | 145,032 人 |
| 藤枝市全域の 65 歳以上の人口 | 42,674 人 |
| 藤枝市全域の 65 歳以上の人口の割合 | 29.4 % |

📍 青島第 7 地区では

| | |
|------------------------|----------|
| 青島第 7 地区の世帯数 | 1,139 世帯 |
| 青島第 7 地区の人口 | 2,804 人 |
| 青島第 7 地区の 65 歳以上の人口 | 752 人 |
| 青島第 7 地区の 65 歳以上の人口の割合 | 26.8 % |

<2019 年 4 月末現在>

✎メモ

◆ポイント

- ・人口の構成などは、自治体のホームページから調べる事できます。(割合などは計算が必要になるかもしれません)
- ・同じ地区に、避難の際に助けを要する人がいるかもしれないことを想像していただくことが大切です。
- ・気づいた事があればメモしていきましょう。

◆説明する際のシナリオの例

- ・地区の人口は●●人で、65 歳以上人口の割合は○○%です。
- ・一般に、高齢化率が 7%を超えると高齢化社会、14%を超えると高齢社会、21%を超えると超高齢化社会と定義されます。
- ・今後はさらに高齢者の割合が増えていくことが想定されますので、地域の皆様で助け合っていくことが重要となります。

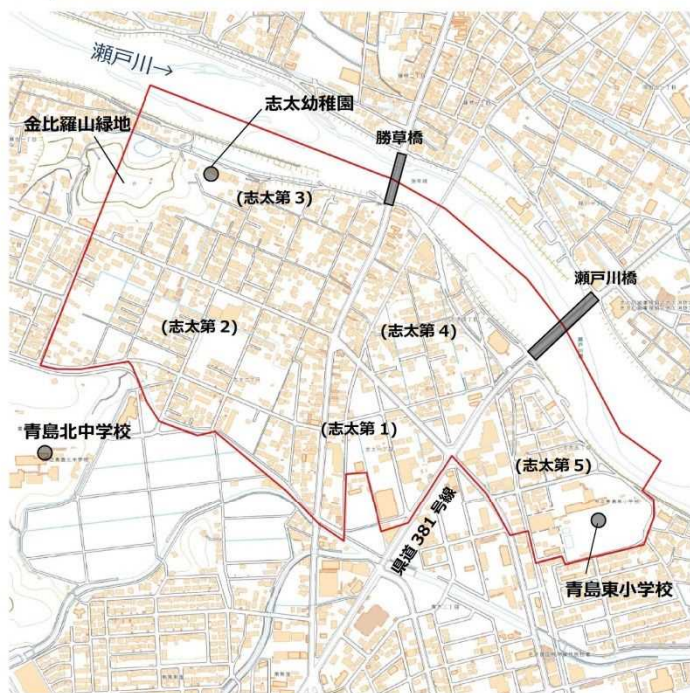
◆ このページのねらい

- ・ ご自身の地区について考えてもらい、「わが事」であることを意識してもらいましょう。

説明時間の目安：3分

STEP 1

📍 地形図で自宅の位置を確認してみよう



<出典：地理院地図を加工して作成>



お住まいの場所に○印を付けましょう。

✎メモ

◆ ポイント

- ・ ご自宅の位置を確認してもらいましょう。
- ・ 地図は自宅と道路等が見える縮尺で作成できるとよいでしょう。
- ・ 道路や橋が見えることで、避難経路を確認する際にも活用できます。
- ・ 近くの溢れそうな川が分かるようにしておきましょう。
- ・ 地形図は国土地理院の地理院地図（インターネット）を活用すると便利です。無料で使うことができます。（操作方法については P64 を参照）

◆ 説明する際のシナリオの例

- ・ ご自宅の位置に丸をつけてみましょう。
- ・ 近所に配慮が必要な方がいるかどうか等、気づいたことをメモしてみましょう。
- ・ 道路や近所の利便施設などの位置を再確認しておきましょう。

◆このページのねらい

- ・過去の洪水を知り、ご自身の地区の水害リスクを把握してもらいましょう。
- ・今後も同様の洪水が起きる可能性があることを実感してもらいましょう。

説明時間の目安：3分

STEP 1

2. 過去の洪水から学ぶ

■ 藤枝市の過去の水害の歴史

| 年月 | 藤枝市内の主な水害と治水事業 |
|-------------------------------|--|
| 明治 43 年 8 月 (台風) | ・瀬戸川で堤防が決壊（瀬戸川最大の水害） ・3日間の総雨量で 877mm を記録 ・住家半壊：11 戸・山腹崩壊：1,200 箇所 ・床上浸水：143 戸 ・床下浸水：1,070 戸 |
| 明治 44 年 8 月 (台風) | ・藤枝で日降水量は 268mm（4 日間）を記録 ・広幅で 23 戸、葉梨で 52 戸の家屋が流失 |
| 大正 13 年～昭和 8 年 | ・瀬戸川、朝比奈川、葉梨川で河川整備を実施 |
| 昭和 33 年～ | ・瀬戸川、朝比奈川を中心に河川改修事業に着手 |
| 昭和 49 年 7 月 (台風第 8 号、七夕豪雨) | ・瀬戸谷で時間最大 57mm、日最大 331mm を記録 ・全壊：4 棟（非住） ・床上浸水：664 棟 ・半壊：6 棟（非住） ・床下浸水：767 棟 |
| 昭和 57 年 9 月 (台風第 18 号) | ・瀬戸谷で時間最大 87mm、日最大 377mm を記録 ・朝比奈川や谷稲葉川などで堤防が決壊 ・死者：1 名 ・軽症者：3 名 ・住家全壊：5 棟 ・床上浸水：533 棟 ・住家半壊：3 棟 ・床下浸水：922 棟 |
| 昭和 57 年～昭和 61 年 | ・瀬戸川、朝比奈川、梅田川で激甚災害対策特別緊急事業により重点的に整備を実施 |
| 平成 15 年 7 月 (梅雨前線) | ・総雨量 124.5mm、時間最大雨量 35mm を記録（市役所） ・住家半壊：2 棟 ・床上浸水：35 棟 ・一部損破：2 棟 ・床下浸水：78 棟 |
| 平成 16 年 6 月 (梅雨前線) | ・総雨量 241.5mm を記録（市役所） ・床上浸水：26 棟 ・床下浸水 103 棟 |

◆ポイント

- ・過去の水害や河川改修に関する記録は、県や自治体の水害誌や、県土木事務所や国の直轄事務所の記録等から調査することができます。
- ・また、「しずおか河川ナビゲーション」のホームページでは、行政の調査資料をベースに、水系ごとに分かり易く情報を集約して掲載されています。
(<http://www.shizuoka-kasen-navi.jp/>)
- ・雨量や被害状況など具体的に記載してみましよう。

◆説明する際のシナリオの例

- ・藤枝市内では過去、台風の影響などによって複数の川で堤防の決壊が起きています。
- ・昭和 49 年の七夕豪雨、昭和 57 年の台風 18 号では大雨により浸水被害が発生しています。
- ・その後は河川改修によって、堤防が決壊するなどの甚大な被害は発生していません。
- ・しかし、近年では全国的に豪雨災害が増加しており、今後は再びこのような被害が生じる可能性もあるため注意が必要です。

◆このページのねらい

- ・住民の方だからこそ知っている洪水やそのエピソード等を伺い、他の住民の方と共有することで、地域の輪を広げるための序章となるとよいでしょう。

説明時間の目安：3分

STEP 1

藤枝市の過去の水害の写真



昭和49年7月 朝比奈川被害状況
(国道1号横内橋下流)

藤枝市でも過去に大きな
洪水被害があったんだね！



昭和49年7月 葉梨川被害状況 (藤枝市藤岡地区)



昭和57年9月 朝比奈川被害状況 (藤枝市横内地区)

<出典：瀬戸川水系河川整備計画>



◆ポイント

- ・写真を載せることで、過去の被害状況がより伝わりやすくなります。
- ・過去の水害経験者の方がいた場合には、話を聞いて情報を共有できるとよいでしょう。

◆説明する際のシナリオの例

- ・藤枝市で過去に起きた水害の写真です。
- ・写真一番下の昭和57年9月の台風18号による洪水では、甚大な被害が生じ、激甚災害対策特別緊急事業に採択され、重点的に整備が行われました。
- ・過去に水害を経験された方、または経験者から話を聞いたことがあるという方がいらっしゃいましたらお話を伺えますでしょうか？

◆このページのねらい

- ・色別標高図からご自身の地区が河川より低い場所かどうかを確認してもらい、洪水発生時に危険な場所となってしまうかを想像してもらいましょう。

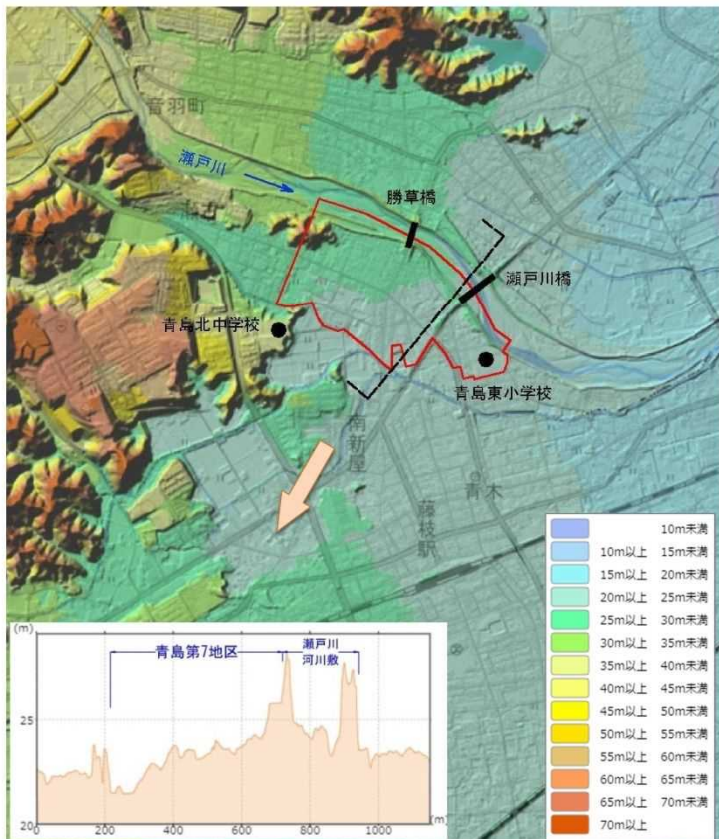
説明時間の目安：2分

STEP 1

3. 地形の特徴から学ぶ

📌 色別標高図で地区の標高を確認してみよう。

- ・青島第7地区は瀬戸川に隣接する標高 20m～30m の平地です。
- ・さらに断面図を見ると、堤防から堤内地（堤防で守られている地域）に向かって土地が低くなっていることが分かります。



<出典：地理院地図を加工して作成>

◆ポイント

- ・色別標高図は国土地理院の地理院地図から無料で使用することができます。（操作方法については P67 を参照）
- ・標高と凡例の色を自分で設定することができます。地区の地形の特徴がわかるように、標高と凡例の設定を適切に行いましょう。
- ・断面図も同様に地理院地図から作成することができます。

◆説明する際のシナリオの例

- ・青島第7地区は瀬戸川に隣接する標高 10m～30mの低地となっています。
- ・断面図を見ると、堤防から住宅地に向かって土地が低くなっている事がわかります。
- ・皆さんの住宅や避難所の高さはどのようになっているでしょうか。

◆このページのねらい

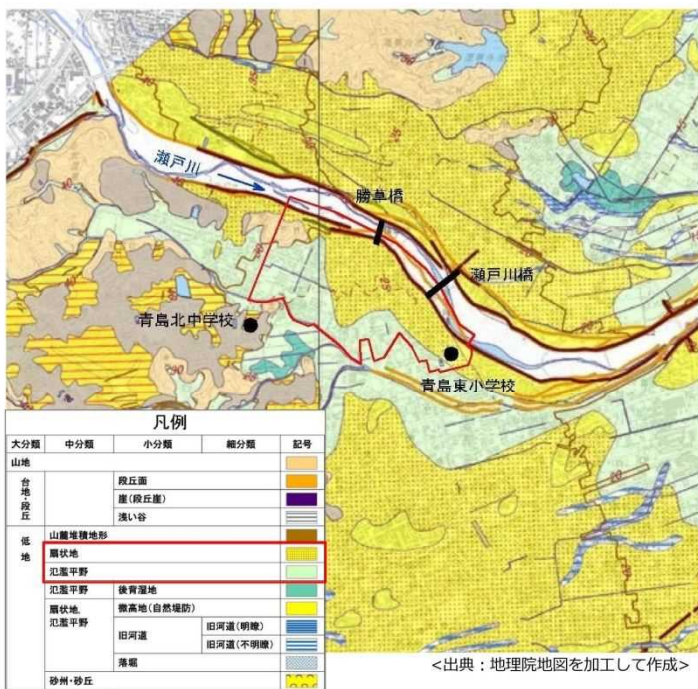
- ・ご自身の地区の特性をさらに詳しく知るために、治水地形分類図によって昔の地形状況を確認できることを知ってもらいましょう。

説明時間の目安：2分

STEP 1

📌 **治水地形分類図で土地の成り立ちを確認してみよう。**

- ・青島第7地区は、主に瀬戸川の上流部・中流部からの運ばれてきた土砂がたまってできた扇状地や氾濫平野に分類されます。
- ・昔から河川の氾濫が起きていた土地であることが考えられます。



メモ

◆ポイント

- ・治水地形分類図というのは、土地の成り立ちを川との関係で見ることができる地図です。
- ・治水地形分類図は国土地理院の地理院地図から無料で使用することができます。
(操作方法についてはP71を参照)

◆説明する際のシナリオの例

- ・ここでは洪水が起きやすい地形について、さらに深く見ていきます。
- ・青島第7地区は、主に瀬戸川の上流部・中流部からの運ばれてきた土砂がたまってできた扇状地や氾濫平野に分類されます。
- ・昔から河川の氾濫が起きていた土地であることが考えられます。

◆このページのねらい

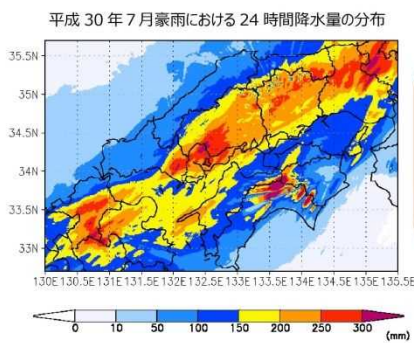
- ・最近の雨の降り方が変わってきていることを知り、洪水のリスクが高まっていることを感じてみましょう。

説明時間の目安：3分

STEP 1

4. 最近の雨の降り方と傾向

■ 洪水をもたらす線状降水帯



線状降水帯とは？

激しい雨を降らせる積乱雲が連続して発生し線状に並びその規模が幅 20～50km、長さ 50～200km になるものが線状降水帯と呼ばれています。

<出典：国立研究開発法人防災科学技術研究所>

■ 頻発する集中豪雨



時間降水量 50mm 以上の「非常に激しい雨」はここ 30 年で約 1.3 倍に増加！



時間降水量 80mm 以上の「猛烈な雨」はここ 30 年で約 1.7 倍に増加！

<出典：ウェザーニュース>

◆ポイント

- ・近年の豪雨災害では、線状降水帯が発生しています。
- ・赤が濃くなるほど、より強い雨が降っていることを示しています。
- ・地球温暖化の影響もあり、集中豪雨は増加傾向にあります。

◆説明する際のシナリオの例

- ・激しい雨を降らせる積乱雲が連続して発生し、線状に並びその規模が幅 20～50km、長さ 50～200km になるものが線状降水帯と呼ばれています。
- ・これらは集中豪雨や局地的豪雨（ゲリラ豪雨）といった、突発的で非常に強い雨をもたらします。ここ 30 年でみても、このような豪雨は増加傾向にあることがわかります。

◆このページのねらい

- ・ 台風等による大雨、集中豪雨と局地的な大雨の特徴について知ってもらいましょう。
- ・ 台風等の大雨では予測が立ちやすく、マイ・タイムラインが効果的であることを伝えましょう。

説明時間の目安：3分

STEP 1

■ 台風等による大雨、集中豪雨と、局地的大雨

近年、いわゆるゲリラ豪雨と呼ばれる局地的な大雨等が頻発し、全国各地で都市型の浸水被害（内水氾濫）が発生しています。

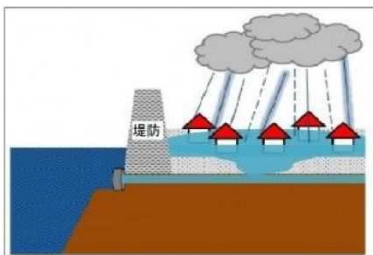
| | 台風 | 集中豪雨 | 局地的大雨 (ゲリラ豪雨) |
|--------|-----------------------|------|-----------------------------------|
| 特 徴 | 数日間に渡って降る大雨 | | 急な強い雨が数時間の内に発生・消滅する |
| | 数時間先の大雨の予測がある程度可能 | | 大雨の予測が困難 |
| | 大小問わず河川の氾濫による大規模な外水氾濫 | | 流域の小さい中小河川の外水氾濫 内水氾濫による都市型浸水被害 |

■ 外水氾濫と内水氾濫



外水氾濫とは？

台風や大雨の時に川の水位が上がり、川の水があふれたり、堤防が決壊したりすることによって発生する浸水被害の事です。



内水氾濫とは？

短時間の大雨により、下水管の雨水処理能力を超えた際や、雨で川の水位が上昇して市街地などの水を川に排出することができなくなった際に、市街地などに水が溢れてしまう浸水被害の事です。

◆ポイント

- ・ 台風はその規模や進路から大雨の予測がある程度可能です。
- ・ 一方局地的な大雨（ゲリラ豪雨）では大雨の予測が難しく、あっという間に内水氾濫を起こす可能性があります。
- ・ マイ・タイムラインは台風など予測可能な水害時により効果的であることを知ってもらいましょう。
- ・ 氾濫には外水氾濫と内水氾濫の2種類があることを説明しましょう。

◆説明する際のシナリオの例

- ・ 台風は、事前に大きさや進路を確認することができます。そのため、マイ・タイムラインで防災行動を明確しておくことで、慌てずに済むのです。
- ・ 一方、近年増加している局地的な大雨では、早期の予測が難しく一気に大雨が押し寄せます。その結果、短時間でも内水氾濫と言われる都市型の浸水が起こる可能性があります。急な水害に対応できるよう、日頃から準備をしておくことが重要です。

◆このページのねらい

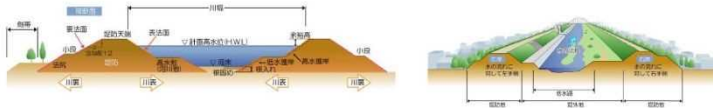
- ・堤防決壊にはいくつかのメカニズムがあることを知ってもらいましょう。

説明時間の目安：3分

STEP 1

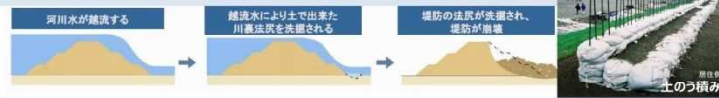
■堤防の決壊について

堤防は1箇所でも壊れると大きな被害が出ます。土構造のため水の浸透、浸食に対して強くありません。基礎地盤は元の河原です。そのため、水位が高かったり、洪水が長く続くと壊れる恐れがあります。また、古い堤防では構造が不明なところもあります。

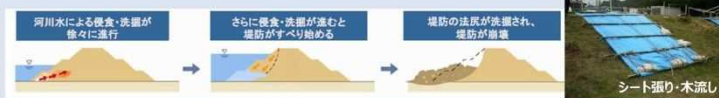


堤防が壊れるメカニズム

① 河川水の越水による堤防決壊



② 浸食・洗掘破壊



③ 浸透破壊



④ パイピング破壊



<出典：NPO 静岡地域づくり研究会「太田川の生い立ちと地域の防災を考える」資料を加工して作成>

◆ポイント

- ・堤防決壊のメカニズムを大きく分類したものが①～④になります。
- ・2015年に茨城県常総市の鬼怒川で起きた堤防決壊では、堤防から水が溢れる「越水」に加え、水が地盤に浸透して堤防が落ち込む「パイピング破壊」が決壊を助長したとの調査結果が出ています。

◆説明する際のシナリオの例

- ・堤防の決壊は、どのようにして起こるのでしょうか。そのメカニズムをまとめてみました。
- ・②③④のように、河川の水が越流しなくても、堤防が壊れてしまう場合があります。
- ・複合的な要因となる場合も多いことに留意が必要です。

◆このページのねらい

- ・ 雨の降り方について、天気予報などで使われる用語と、その様子を知ってもらいましょう。

説明時間の目安：3分

STEP 1

■ 雨の強さと降り方

| 1時間雨量 (mm) | 人の受けるイメージ | 人への影響 | 車に乗っていて |
|-----------------------|---------------------------------|--|---|
| 10以上20未満 (やや強い雨) | ザーザーと降る。 | 地面からの跳ね返りで 足元がぬれる。 | |
| 20以上30未満 (強い雨) | どしゃ降り。 | 傘をさしてもぬれる。  | ワイパーを速くしても 見づらい。 |
| 30以上50未満 (激しい雨) | バケツをひっくり返した 様に降る。 |  | 高速走行時、車輪と 路面の間に水膜が生 じブレーキが効かなく なる。(ハイドロプレー ニング現象) |
| 50以上80未満 (非常に激しい雨) | 滝のように降る。 (ゴーゴーと降り続 く) | 傘は全く役に立たなく なる。  | 車の運転は危険。  |
| 80以上 (猛烈な雨) | 息苦しくなるような圧 迫感がある。恐怖を感 ずる。 | | |

<出典：気象庁リーフレット「雨と風（雨と風の階級表）」を加工して作成>

✎メモ

◆ポイント

- ・ 天気予報などで耳にする1時間ごとの雨量や「強い雨」の表現が、体感としてどの程度の雨となるのか表で整理します。
- ・ 車で避難する場合は、雨が強くなる前に動く事が大切です。
- ・ 最近では1時間あたり100mm以上の大雨も観測されています。

◆説明する際のシナリオの例

- ・ 天気予報などで、「強い雨」「猛烈な雨」という言葉で表現されているのを聞きます。それぞれ、どのくらいの雨の量なのか、体感としてどのような雨なのかを整理した表です。
- ・ 雨が強いと、車での避難にも危険が伴うことが分かります。避難を考えたときの参考にしてください。

◆このページのねらい

- ・ 想定しうる最大規模の雨が降ったとき、ご自身の地区や家がどのような状態になるのかを浸水想定区域図やハザードマップ等を用いて知ってもらいましょう。

説明時間の目安：3分

STEP 1

5. 「想定最大規模の雨」で川が氾濫したら

■ 想定最大規模の雨とは？

想定し得る最大規模の大雨のことです。瀬戸川流域では、24時間総雨量695mmの雨を想定しています。

■ 浸水想定区域図

① 浸水範囲と浸水深について

- ・ 氾濫時に浸水が及ぶ範囲と、その時の浸水の深さを示しています。



② 浸水継続時間について

- ・ 浸水深が0.5m以上になってから再び0.5m未満に水がひくまでの時間です。
- ・ 床上浸水が長時間に渡る場合、垂直避難（2階へ避難）では孤立してしまう恐れがあります。そのため**立退き避難**が必要となります。

③ 家屋倒壊等氾濫想定区域について

- ・ 氾濫や河岸侵食によって家などの建物が倒壊・流失する恐れのある範囲を示します。
- ・ 家屋倒壊の恐れがある場合も垂直避難は安全ではありません。**立退き避難**が必要となります。

◆ポイント

- ・ 想定される最大規模の降雨量は河川ごとに異なります。
- ・ 洪水浸水想定区域図には
 - ①洪水浸水想定区域
 - ②浸水継続時間
 - ③家屋倒壊等氾濫想定区域の3種類があります。
- ・ さらに、③家屋倒壊等氾濫想定区域には洪水氾濫と河岸侵食の2種類があります。
- ・ 各洪水浸水想定区域図は、静岡県河川砂防局のホームページからダウンロードできます。

(<https://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-320/measures/shinsuisoutei.html>)

◆説明する際のシナリオの例

- ・ 想定最大規模とは、想定し得る最大規模の大雨のことです。しかし、決して起こり得ないものではありません。
- ・ 想定最大規模の雨を対象とした浸水想定区域図は、①浸水範囲と浸水深を色分けした地図、②浸水継続時間を色分けした地図、③堤防が決壊による氾濫時に、家屋が倒壊する恐れのある範囲を示した図、の3種類があります。

◆このページのねらい

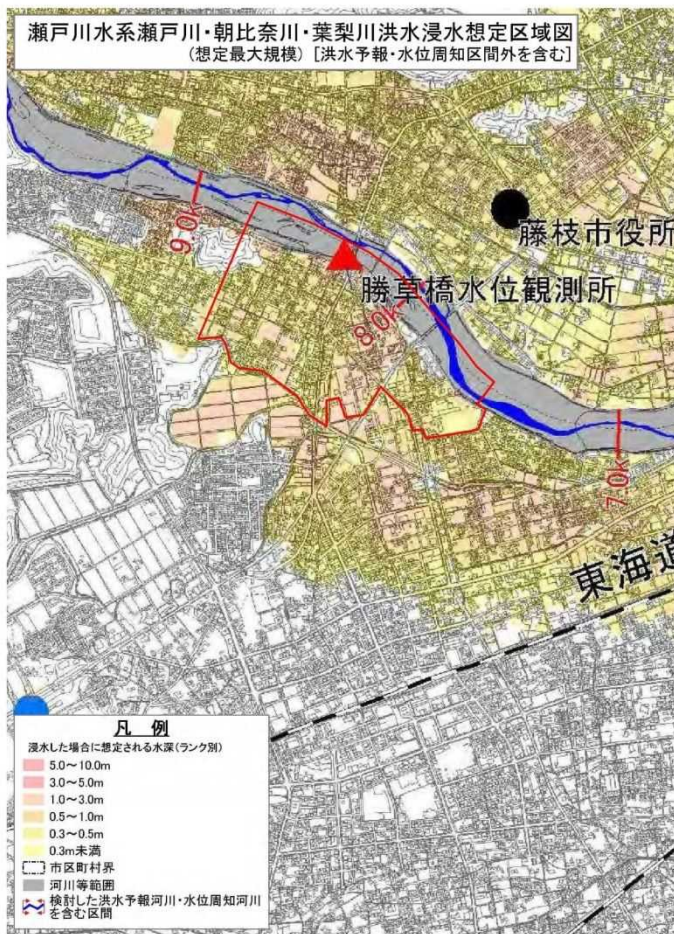
- ・ 想定最大規模の大雨による洪水が起こった場合、氾濫水がどこまで及び、どのくらいの深さになるのかを知ってもらいましょう。

説明時間の目安：3分

STEP 1

① 浸水範囲と浸水深を確認してみよう

下の図は瀬戸川水系河川で想定し得る最大規模の洪水発生時の、**浸水区域と浸水深**を示しています。



◆ポイント

- ・ 地区内に流れる河川の浸水想定区域図(想定最大規模)を拡大しています。
- ・ 浸水範囲と浸水深を確認することができます。

◆説明する際のシナリオの例

- ・ 想定される最大規模の雨により、瀬戸川が氾濫した場合の浸水範囲と浸水深を色分けしたものです。赤が濃くなるほど浸水深が大きくなります。
- ・ 例えば浸水深が3.0mとなれば、平屋建てにお住まいの方は1階がすべて浸水してしまいます。そのため、洪水が始まる前に別の場所に避難する必要があります。

◆このページのねらい

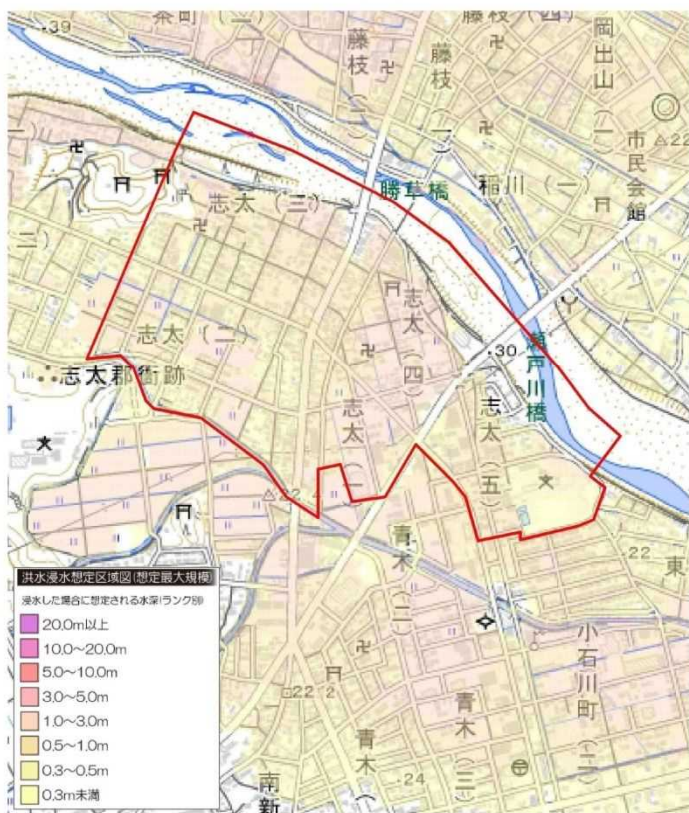
- ・静岡県地理情報システム（GIS）から、浸水想定区域図をパソコンやスマートフォン等から確認できる事を知ってもらいましょう。

説明時間の目安：2分

STEP 1

静岡県 GIS でさらに詳しく調べる

静岡県地理情報システム（GIS）では、浸水想定区域図をパソコンやスマートフォンの画面上でより詳しく確認することができます。お住まいの場所の**浸水区域と浸水深**を確認しておきましょう。



主題地図名：想定される区域と水深（想定最大規模）
 国土地理院(<http://maps.gsi.go.jp/development/ichiran.html>)
 地理院地図は国土地理院長の承認を得て同院発行の電子地形図を利用しています。
 （承認番号 平27情複、第1044号）

◆ポイント

- ・静岡県 GIS を操作して、浸水想定区域図（想定最大規模）を詳しく確認することができます。
- ・対象地区を囲むことでよりわかりやすくなります。
- ・住んでいる場所の浸水深を確認してもらいましょう。

◆説明する際のシナリオの例

- ・こちらは、静岡県 GIS で見た浸水想定区域図の拡大図になります。
- ・ご自宅のパソコンやスマートフォンから操作していつでも確認することが可能です。
- ・ご自宅の浸水深について確認しましょう。
- ・自宅周辺で特に浸水が深い場所や、安全な場所の目安を確認しておきましょう。

◆このページのねらい

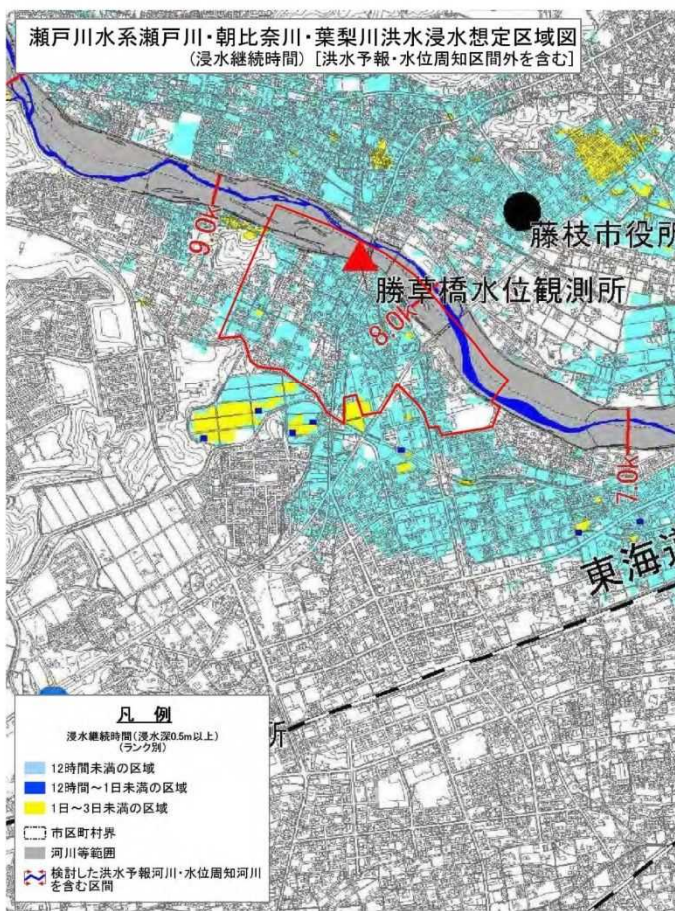
- ・堤防が決壊した場合に、氾濫水が引くまでにかかる時間を確認してもらいましょう。
- ・浸水が長期に渡る場合は、避難の方法やタイミングが重要となることを説明しましょう。

説明時間の目安：3分

STEP 1

② 浸水継続時間を確認してみよう

下の図は瀬戸川水系河川で想定し得る最大規模の洪水発生時に、**浸水深0.5m以上**の水が引くまでに**どれくらいの時間**がかかるのかを示しています。



◆ポイント

- ・地区内に流れる河川の浸水想定区域図（洪水継続時間）を拡大しています。
- ・0.5m以上の浸水が何時間続くのを色分けで表示しています。

◆説明する際のシナリオの例

- ・想定最大規模の洪水発生時に、浸水深0.5m以上の水がひくまでの時間を示しています。黄色で着色されている場所は、1日以上浸水が続く恐れがあるということになります。
- ・浸水深0.5mは床上浸水の目安です。浸水継続時間が1日以上続くような場所では、2階に避難しても逃げ場がなくなり長時間孤立する恐れがあります。

◆このページのねらい

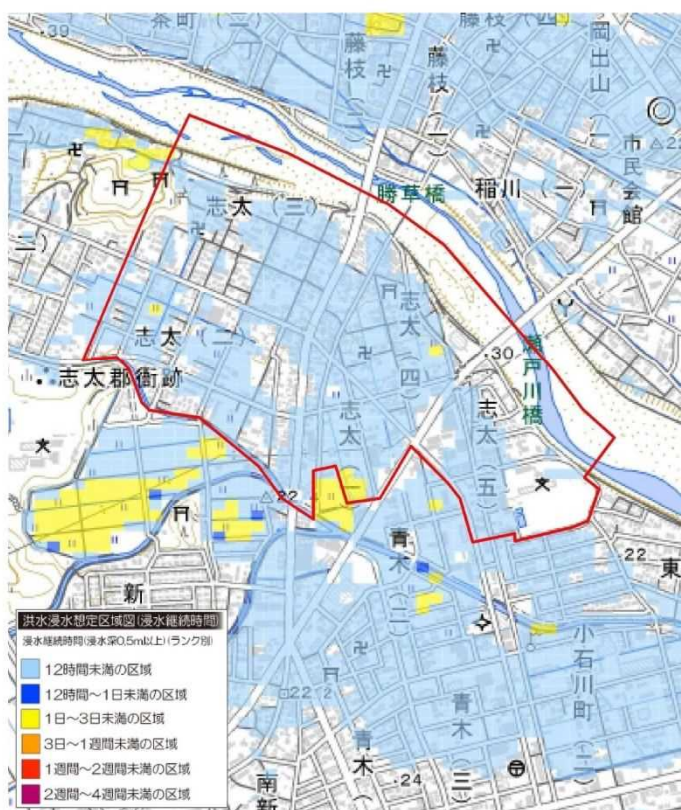
- ・静岡県地理情報システム（GIS）から、浸水想定区域図をパソコンやスマートフォン等から確認できる事を知ってもらいましょう。

説明時間の目安：2分

STEP 1

📌 静岡県 GIS でさらに詳しく調べる

静岡県地理情報システム（GIS）では、洪水浸水想定区域図をパソコンやスマートフォンの画面上でより詳しく確認することができます。お住まいの場所の**浸水継続時間**を確認しておきましょう。



主題地図名：浸水継続時間
 国土地理院(<http://maps.gsi.go.jp/development/ichiran.html>)
 地理院地図は国土地理院長の承認を得て同院発行の電子地形図を利用しています。
 (承認番号 平27情復、第1044号)

◆ポイント

- ・静岡県 GIS を操作して、浸水想定区域図（浸水継続時間）を詳しく確認することができます。
- ・対象地区を囲むことでよりわかりやすくなります。
- ・住んでいる場所の浸水継続時間を確認してもらいましょう。

◆説明する際のシナリオの例

- ・平成 30 年 7 月豪雨のときの真備町や平成 27 年関東東北豪雨のときの常総市では、浸水が広い範囲で長期間に渡ることもありました。
- ・その場合、長期にわたって水道やトイレ、電気、ガス等が使用できなくなったりして生活に支障をきたすことがありますので、そうなる前に、別の場所に避難することが必要になります。

◆このページのねらい

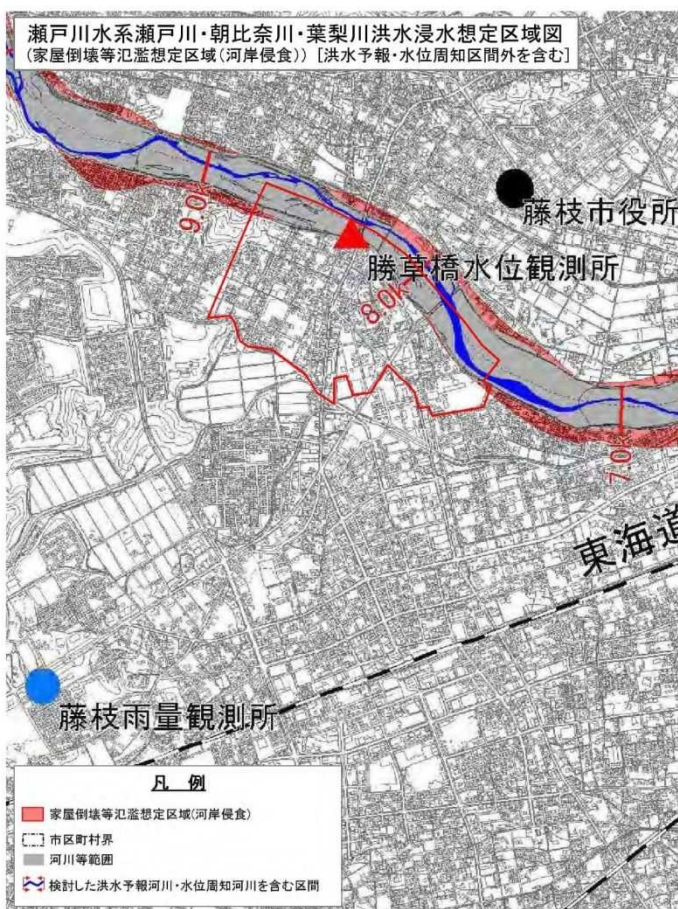
- ・ 想定最大規模の雨量による河川の氾濫により、家屋の倒壊がある範囲を確認してもらいましょう。

説明時間の目安：3分

STEP 1

③ 家屋倒壊等氾濫想定区域を確認してみよう

下の図は瀬戸川水系河川で想定される最大規模の洪水発生時に、河岸の侵食によって**家屋倒壊等をもたらすような氾濫の発生が想定される区域**を示しています。



◆ポイント

- ・ 地区内に流れる河川の浸水想定区域図（家屋倒壊等氾濫想定区域）を拡大しています。
- ・ 家屋倒壊等氾濫想定区域には洪水氾濫と河岸侵食の2種類があります。（該当しない場合もあります）

◆説明する際のシナリオの例

- ・ 想定最大規模の洪水発生時に、家屋の倒壊の恐れがある場所を示しています。
- ・ この図で赤く塗られている範囲に家がある場合は、氾濫時に2階に避難しても家ごと押し流されてしまう可能性があり危険です。
- ・ ですので、氾濫危険水位に到達する前に避難することが重要となります。

◆このページのねらい

- ・静岡県地理情報システム（GIS）から、浸水想定区域図をパソコンやスマートフォン等から確認できる事を知ってもらいましょう。

説明時間の目安：2分

STEP 1

静岡県 GIS でさらに詳しく調べる

静岡県地理情報システム（GIS）では、浸水想定区域図をパソコンやスマートフォンの画面上でより詳しく確認することができます。お住まいの場所が**家屋倒壊等氾濫想定区域**かどうかを確認しておきましょう。



主題地図名：家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸浸食）
国土地理院(<http://maps.gsi.go.jp/development/ichiran.html>)
地理院地図は国土地理院長の承認を得て同院発行の電子地形図を利用しています。
(承認番号 平27情復、第1044号)

◆ポイント

- ・静岡県 GIS を操作して、浸水想定区域図（家屋倒壊等氾濫想定区域）を詳しく確認することができます。
- ・堤防沿いの場所では家屋倒壊の可能性がわかりやすい。

◆説明する際のシナリオの例

- ・ご自宅が赤く塗られている範囲に入っているかどうか確認しましょう。
- ・実際に氾濫が起きた場合、必ずしも浸水想定区域図のとおりになるとは決して限りません。ですが、避難判断の目安として非常に有効となります。ぜひ、ご自宅に戻りましたら静岡県 GIS にアクセスして、もう一度確認しておきましょう。

◆このページのねらい

- ・STEP1のまとめとして、ご自身の地区の浸水想定やご家庭の状況について記入してもらいましょう。

説明時間の目安：5分

STEP 1

マイ・タイムライン作成のためのチェックシート

(1) 洪水浸水想定区域図でチェック

- あなたの住んでいる場所の浸水深は？
_____ m
- あなたの住んでいる場所の浸水継続時間は？
_____ 時間
- あなたの住んでいる場所は家屋倒壊等氾濫想定区域ですか？
 はい いいえ

洪水浸水想定区域図の確認は静岡県 GIS で確認できます。
<https://www.gis.pref.shizuoka.jp/>



(2) 家庭の状況のチェック

- 車 有り ()
- ペット 有り ()
- 持病薬 有り ()
- 避難に支援が必要な人（高齢者、障害者、乳幼児、妊婦など）
 有り ()
- 親戚など避難を受け入れてくれる場所
 有り ()

◆ポイント

- ・ご自身が住んでいる場所の水害リスクを再確認してもらいましょう。

- ・マイ・タイムライン作成の前提条件となる、家庭の状況についてチェックしてもらいましょう。

◆説明する際のシナリオの例

- ・ページ上の段には皆さんがお住まいの場所の水害リスクを記入する欄、ページ下の段には家庭の状況をチェックする欄がありますので記入してみましょう。
- ・例えば、車の有無は避難方法に関係してきますし、車が複数台ある場合には、浸水しないように、避難に使わない車を事前に高台に避難させておくことなどが考えられます。
- ・ペットがいる場合には、避難所への同伴が可能かどうかの確認も必要になってきます。